

特集

現代における解離

診断概念の変遷を踏まえ臨床的な理解を深める

企画 岡野憲一郎・金 吉晴

特集にあたって 岡野 憲一郎・他	991
解離性障害の現代的な意義 金 吉晴	993
解離はなぜ誤解され、無視されるのか 岡野 憲一郎	1001
現代の精神科臨床で解離はどのように扱われているか? 松本 俊彦	1013
健忘と遁走の関連性 全生活史健忘の検討から 大矢 大	1020
転換・心因性という概念は消えてしまうのか? 増尾 徳行・他	1026
精神科と脳神経内科との境界の解離性障害	
PNES(心因性非てんかん発作)をどう理解して関わるか 谷口 豪・他	1033
構造的解離理論とその後 野間 俊一	1041
現代におけるジャネと解離 フランスの文脈からの再考 河野 一紀	1047
解離症と神経発達症 柴山 雅俊	1054
ドイツ精神医学における解離 歴史的素描 梅原 秀元	1060
解離性障害の器質論 どこまで解明されているか 金 吉晴	1067
複雑性 PTSD と解離の関係 結果か原因か 金 吉晴	1072
一般外来における解離性同一性障害の治療 精神分析の立場から 加茂 聡子	1080
解離は障害であり、力でもある 中島 幸子	1085

研究と報告

アルツハイマー病の日常生活機能障害 (functional impairment) に影響する要因

記憶障害の指標で重症度を統制した検討 鎌田 日南・他 1091

今月の書籍……1099／次号予告……1100／バックナンバー……1101／投稿規定……1103